



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日  
東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	79,920	4.6	12,506	18.2	12,728	14.5	8,850	11.2
26年3月期第2四半期	76,401	7.4	10,577	23.3	11,120	32.6	7,961	41.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 10,187百万円( 1.9%) 26年3月期第2四半期 10,001百万円( 100.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.15	—
26年3月期第2四半期	48.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	196,750	145,604	73.3
26年3月期	207,999	137,822	65.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 144,257百万円 26年3月期 136,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	4.5	24,100	8.3	24,800	4.5	17,800	6.6	110.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	161,000,000株	26年3月期	161,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	522,752株	26年3月期	522,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	160,477,714株	26年3月期2Q	163,741,628株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成26年11月5日(水)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における国内景気は、雇用・所得環境が改善しましたが、消費増税前の駆け込み需要の反動が長期化していることもあり、緩やかな回復基調となりました。当社グループの事業につきましては、化学品部門は、原燃料価格の高止まり、メラミン(合板用接着剤原料等)の市況下落の影響を受けました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料および半導体材料が大幅に伸長しました。農業化学品部門は、フルララネル(動物用医薬品原薬)が好調に推移しました。医薬品部門は、後発医薬品の増勢により「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬の販売シェアが低下しました。

この結果、当期における業績は、売上高799億20百万円(前年同期比35億19百万円増)、営業利益125億6百万円(同19億28百万円増)、四半期純利益88億50百万円(同8億89百万円増)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

#### 化学品部門

基礎化学品では、メラミンの販売が国内外ともに減少しました。ファインケミカルでは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)は円安の後押しを受けましたが、「ハイライト」(殺菌消毒剤)は価格競争激化により苦戦しました。

この結果、当部門の売上高は166億95百万円(前年同期比11億63百万円減)、営業利益は4億16百万円(同3億60百万円減)となりました。

#### 機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、スマートフォンなどの中小型向けを中心に好調を持続しました。また、BARCおよび多層材料は、半導体の微細化進展に伴い需要が拡大しました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けが前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は242億39百万円(前年同期比36億27百万円増)、営業利益は66億77百万円(同23億2百万円増)となりました。

#### 農業化学品部門

国内に関しては、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)および「アルテア」(水稲用除草剤)の販売量が増加しました。また、輸出につきましては、とくに、フルララネルを含む製品が欧州および米国で上市されたことにより、大幅な増収となりました。

この結果、当部門の売上高は185億31百万円(前年同期比25億29百万円増)、営業利益は39億54百万円(同15億81百万円増)となりました。

#### 医薬品部門

「リバロ」原薬は、米州およびアジアを中心に海外向けは順調に推移しました。国内向けは後発医薬品の影響により、大幅な減収となりました。一方で、「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、顧客向けの出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は49億98百万円(前年同期比13億50百万円減)、営業利益は15億98百万円(同15億77百万円減)となりました。

#### 卸売部門

ディスプレイ材料関連製品および農業化学品製品が伸長し、当部門の売上高は272億97百万円(前年同期比28億5百万円増)、営業利益は9億4百万円(同2億30百万円増)となりました。

#### その他の部門

当部門の売上高は84億60百万円(前年同期比12億70百万円減)、営業損失は27百万円(同2億63百万円減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比112億48百万円減の1,967億50百万円となりました。

負債合計も有利子負債が減少したことなどから、前連結会計年度末比190億30百万円減の511億46百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比77億81百万円増の1,456億4百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比7.6ポイント増加し、73.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、229億2百万円の収入(前年同期は227億53百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、研究開発部門などの設備投資を中心に27億70百万円の支出(前年同期は77億48百万円の支出)となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより233億32百万円の支出(前年同期は190億71百万円の支出)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額91百万円を加え、前連結会計年度末に比較して31億9百万円減少し、276億48百万円(前年同期は280億48百万円)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、第2四半期累計期間及び足元での需要予測をもとに、平成26年7月29日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。なお、ナフサ市況については70,000円/k1、為替については1米ドル103円を前提としています。

平成27年3月期 通期連結業績予想（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	170,000	23,500	24,000	17,500	109円05銭
今回発表予想（B）	171,000	24,100	24,800	17,800	110円92銭
増減額（B－A）	1,000	600	800	300	—
増減率（%）	0.6%	2.6%	3.3%	1.7%	—
（ご参考）前期実績 （平成26年3月期）	163,658	22,246	23,723	16,701	102円11銭

平成27年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想（単位：億円）

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売 上 高	化学品	345	346	1
	機能性材料	471	483	12
	農業化学品	439	453	14
	医薬品	98	88	△ 10
	卸売	536	556	20
	その他	215	215	—
	調整額	△ 404	△ 431	△ 27
	計	1,700	1,710	10
営 業 利 益	化学品	15	16	1
	機能性材料	107	113	6
	農業化学品	80	91	11
	医薬品	31	19	△ 12
	卸売	16	18	2
	その他	4	5	1
	調整額	△ 18	△ 21	△ 3
	計	235	241	6

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が3億31百万円増加し、利益剰余金が2億13百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,757	27,648
受取手形及び売掛金	54,041	42,641
商品及び製品	26,775	27,293
仕掛品	51	668
原材料及び貯蔵品	6,353	7,303
その他	7,457	6,602
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	125,413	112,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,520	22,362
その他(純額)	25,455	24,796
有形固定資産合計	44,975	47,159
無形固定資産		
のれん	481	165
その他	769	718
無形固定資産合計	1,251	883
投資その他の資産		
投資有価証券	33,570	33,197
その他	3,028	3,601
貸倒引当金	△240	△225
投資その他の資産合計	36,358	36,573
固定資産合計	82,585	84,616
資産合計	207,999	196,750

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,067	14,868
短期借入金	30,645	10,724
未払法人税等	3,512	3,334
賞与引当金	1,754	1,787
役員賞与引当金	27	13
その他	7,646	10,065
流動負債合計	59,652	40,794
固定負債		
長期借入金	5,450	4,750
退職給付に係る負債	244	212
その他	4,829	5,389
固定負債合計	10,524	10,351
負債合計	70,176	51,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	98,121	104,617
自己株式	△698	△700
株主資本合計	129,975	136,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,138	6,887
為替換算調整勘定	20	508
退職給付に係る調整累計額	417	389
その他の包括利益累計額合計	6,576	7,786
少数株主持分	1,269	1,346
純資産合計	137,822	145,604
負債純資産合計	207,999	196,750

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	76,401	79,920
売上原価	47,326	48,250
売上総利益	29,074	31,669
販売費及び一般管理費	18,496	19,163
営業利益	10,577	12,506
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	266	292
持分法による投資利益	384	294
その他	721	457
営業外収益合計	1,382	1,054
営業外費用		
支払利息	158	126
固定資産処分損	147	170
休止損	396	265
その他	138	269
営業外費用合計	839	831
経常利益	11,120	12,728
特別利益	-	-
特別損失		
製品補償費用	-	390
特別損失合計	-	390
税金等調整前四半期純利益	11,120	12,338
法人税、住民税及び事業税	3,150	3,569
法人税等調整額	△77	△163
法人税等合計	3,073	3,406
少数株主損益調整前四半期純利益	8,047	8,931
少数株主利益	86	80
四半期純利益	7,961	8,850

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,047	8,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,409	749
為替換算調整勘定	547	534
退職給付に係る調整額	-	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	1,954	1,255
四半期包括利益	10,001	10,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,877	10,060
少数株主に係る四半期包括利益	124	126

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,120	12,338
減価償却費	3,973	3,713
受取利息及び受取配当金	△276	△302
支払利息	158	126
固定資産処分損益(△は益)	147	170
売上債権の増減額(△は増加)	14,802	11,591
たな卸資産の増減額(△は増加)	△760	△1,947
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,163	△1,208
その他	168	1,935
小計	26,170	26,417
利息及び配当金の受取額	662	362
利息の支払額	△162	△138
法人税等の支払額	△3,916	△3,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,753	22,902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△327	△1,307
投資有価証券の売却による収入	244	3,040
関係会社株式の取得による支出	△2,749	-
有形固定資産の取得による支出	△4,067	△3,824
有形固定資産の除却による支出	△89	△113
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△466	△96
その他	△293	△469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,748	△2,770
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,016	△15,236
長期借入金の返済による支出	△2,690	△5,456
配当金の支払額	△2,292	△2,567
少数株主への配当金の支払額	△48	△50
その他	△24	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,071	△23,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	236	91
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,830	△3,109
現金及び現金同等物の期首残高	31,878	30,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,048	27,648

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## 1) 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,453	17,934	14,534	6,341	19,691	4,446	76,401	—	76,401
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,405	2,678	1,467	7	4,801	5,284	18,646	△18,646	—
計	17,859	20,612	16,002	6,349	24,492	9,731	95,047	△18,646	76,401
セグメント利益 (営業利益)	777	4,375	2,373	3,176	674	236	11,613	△1,035	10,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,035百万円には、セグメント間取引消去△307百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△727百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2) 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,114	21,390	17,151	4,998	20,240	4,023	79,920	—	79,920
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,580	2,849	1,379	—	7,057	4,436	20,304	△20,304	—
計	16,695	24,239	18,531	4,998	27,297	8,460	100,224	△20,304	79,920
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	416	6,677	3,954	1,598	904	△27	13,525	△1,018	12,506

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,018百万円には、セグメント間取引消去△102百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△915百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年10月1日付の組織改訂に伴い、前第3四半期連結会計期間より化学品事業に属していたファインテックを医薬品事業に編入しました。

前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、セグメント区分変更後の数値に置き換えて表示しております。

なお、変更後の各報告セグメントの主要製品は以下の通りです。

報告セグメント	主要製品・分野
化学品事業	基礎化学品（メラミン、硫酸、硝酸、アンモニア等） ファインケミカル（封止材用等特殊エポキシ、難燃剤、殺菌消毒剤等）
機能性材料事業	ディスプレイ材料（液晶表示用材料ポリイミド等） 半導体材料（半導体用反射防止コーティング材等） 無機コロイド（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）
農業化学品事業	農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤、殺虫殺菌剤、植物成長調整剤） 動物用医薬品原薬
医薬品事業	高コレステロール血症治療薬原薬 ファインテック（医薬品研究開発参加型事業）
卸売事業	卸売等
その他の事業	肥料（高度化成等）、造園緑化、環境調査、運送、 プラントエンジニアリング等